

平成20年度文化庁長官表彰（文化芸術創造都市部門）記念シンポジウム

創造性をはぐくむ都市へ

近年、文化芸術の持つ創造性を活かした産業振興や都市再生の取組（いわゆる「文化芸術創造都市」）が、諸外国においても我が国においても大きな成果を上げています。「文化芸術創造都市」は、都市の魅力を世界に向けて発信するとともに、多くの人材をひきつけるものです。今後の自治体経営において、文化芸術の振興は、新たなキーワードとなるでしょう。

文化庁では、このような地方自治体の取組を推進するため、平成19年度に文化芸術創造都市に対する表彰制度を創設しました。

平成20年度の表彰に併せて開催する今回のシンポジウムでは、文化芸術の持つ創造性に着目した都市のあり方について討論を行うとともに、アジアをはじめとした国内外の諸都市間での交流・連携の可能性を探ります。

パネリスト

安藤 忠雄（建築家、東京大学名誉教授）

佐々木雅幸（大阪市立大学大学院創造都市研究科教授）

蓮池奈緒子（NPO法人アートネットワーク・ジャパン代表）

平田オリザ（劇作家・演出家、大阪大学大学院教授）

宮島 達男（現代美術家、東北芸術工科大学副学長）

コーディネーター

青木 保（文化庁長官）

スケジュール

12:30 受付開始
13:00 青木保文化庁長官挨拶
13:05 林田英樹国立新美術館館長挨拶
13:20 パネルディスカッション
15:30 閉会

日時 平成21年1月30日（金）
13:00～15:30（開場12:30）

会場 国立新美術館 講堂（定員250名）
〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2

参加費 無料・要申込（詳しくは裏面へ）

主催 文化庁

問合せ 文化庁 長官官房政策課 政策調整係
Tel 03-5253-4111（内線3106）
E-mail s-chosei@bunka.go.jp

パネリスト紹介



安藤 忠雄 (あんど う ただお)

建築家、東京大学名誉教授
独学で建築を学び、1969年に安藤忠雄建築研究所を設立。最近の主な作品は、表参道ヒルズ、地中美術館(直島)、国際子ども図書館、ピューリッツァー美術館(アメリカ)など。日本芸術院賞(1993年)、文化功労者(2003年)はじめ、受賞多数。阪神・淡路震災復興支援10年委員会の実行委員長として被災地の復興に尽力する。又、瀬戸内海の破壊された自然を回復させるため中坊公平氏と共に「瀬戸内オリーブ基金」を2000年に設立。



佐々木 雅幸 (ささき まさゆき)

大阪市立大学大学院創造都市研究科教授、大阪市立大学都市研究プラザ所長
1992年金沢大学経済学部教授(1999年~2000年ポローニャ大学客員研究員)、2000年立命館大学政策科学部教授、2003年から現職。金沢市文化活動賞(1999年)、日本都市学会賞(2003年)受賞。主著は『創造都市への挑戦』『創造都市の経済学』『創造都市への展望』『CAFÉ - 創造都市・大阪への序曲』など。近年は、文化産業を核とする都市に着目した創造都市論を展開しており、大阪市を中心に「クリエイティブ・カフェ」をはじめとする実践活動も行っている。



蓮池 奈緒子 (はすいけ なおこ)

NPO法人アートネットワーク・ジャパン(ANJ)代表、フェスティバル/トーキョー実行委員会事務局長
文学座、東京グローブ座勤務を経て、'97年東京国際舞台芸術フェスティバル(02年より東京国際芸術祭)実行委員会事務局入局。2000年事務局のNPO化に伴いANJ職員となり03年より事務局長、08年より現職。01年「廃校プロジェクト」を開始し04年豊島区旧朝日中学校に豊島区文化芸術創造支援事業として「にしすがも創造舎」をオープン。05年~「にしすがも創造舎演劇上演プロジェクト」、07年~「にしすがもアート夏まつり」をプロデュース。区民向け「読み聞かせ講座」なども企画。



平田 オリザ (ひらた おりぎ)

劇作家・演出家、大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授
1983年大学在学中に結成した劇団「青年団」を率いて、こまばアブラ劇場を拠点に活動。『東京ノート』で岸田国士戯曲賞(1995年)、芸術祭賞優秀賞(2000年)など受賞。2000年フランスでの『東京ノート』制作、上演をはじめ、ワークショップを含めた海外での活動も盛んに行っている。他にも障害者とのワークショップ、地元の駒場ほか、各自治体やNPOと連携した総合的な演劇教育プログラムの開発など、多角的な演劇教育活動を展開している。



宮島 達男 (みやじま たつお)

現代美術家、東北芸術工科大学副学長・デザイン工学部長
1988年、ヴェネツィア・ビエンナーレ・アペルト部門で招待され国際的に注目を集める。以来、海外25カ国でグループ展、個展を開催。国内でも精力的に活動を行っている。1999年には、ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館代表として選ばれ、代表作「Mega Death」を発表。宮島作品を代表する「デジタルカウンター」は、発光ダイオードによって光が数を刻み、明滅する数字は生まれては死んでいく生命を象徴する。ジュネーブ大学コンペティション優勝(スイス:1993年)、第5回日本現代芸術振興賞(1998年)など受賞。

コーディネーター紹介



青木 保 (あおき たもつ)

文化人類学者、文化庁長官
大阪大学教授、東京大学教授、政策研究大学院大学教授、早稲田大学アジア研究機構教授を経て、2007年4月より現職。この間、米ハーバード大学客員研究員、仏国立パリ社会科学高等研究院客員教授、独コンスタンツ大学客員教授、タイ国立チュロンコン大学研究員なども務めた。サントリー学芸賞(1985年)、吉野作造賞(1990年)受賞、紫綬褒章(2000年秋)受章。

*** お申込方法 ***

メール又はファックスにて、住所・氏名・電話番号・メールアドレスを明記の上、下記へお申込ください。なお、定員を超過しない限り、特に返信はいたしませんので、予めご了承ください。
1月27日(火)締切

文化庁 長官官房政策課 政策調整係「創造性をはぐくむ都市へ」宛
FAX: 03-6734-3811 E-mail: s-chosei@bunka.go.jp